

第4回 令和元年台風災害復旧・復興推進本部会議

日時：令和2年3月24日（火）

9:30～9:45

場所：県庁3階 第一応接室

次 第

- 1 開会
- 2 被害等の状況について
- 3 県の対応状況等について
- 4 その他
- 5 閉会

第4回 令和元年台風災害復旧・復興推進本部会議 出席者名簿

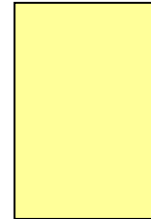
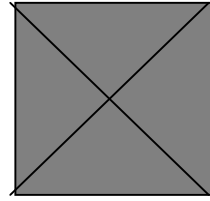
	所属	職	氏名	備考
1		知事	達 増 拓 也	本部長
2		副知事	保 和 衛	副本部長
3	秘書広報室	室長	高 橋 勝 重	
4	総務部	部長	八重樫 幸 治	
5	政策地域部	部長	白 水 伸 英	
6	文化スポーツ部	部長	菊 池 哲	
7	環境生活部	部長	大 友 宏 司	
8	保健福祉部	部長	野 原 勝	
9	商工労働観光部	部長	戸 舘 弘 幸	
10	農林水産部	部長	上 田 幹 也	
11	県土整備部	部長	八重樫 弘 明	
12	復興局	局長	大 槻 英 毅	
13	I L C 推進局	局長	佐々木 淳	
14	出納局	会計管理者兼出納局長	菊 池 満	
15	盛岡広域振興局長	局長	石 田 知 子	
16	県南広域振興局長	局長	平 野 直	Webを通じた出席
17	沿岸広域振興局長	局長	石 川 義 晃	Webを通じた出席
18	県北広域振興局長	局長	南 敏 幸	Webを通じた出席
19	医療局長	局長	熊 谷 泰 樹	
20	企業局長	局長	藤 澤 敦 子	
21	教育委員会	教育長	佐 藤 博	
22	警察本部	本部長	島 村 英	
23	東京事務所	所長	高 橋 達 也	Webを通じた出席

出入口

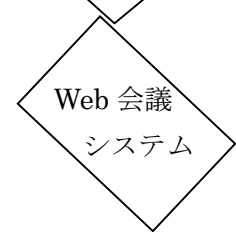
台風災害復旧復興推進室
特命参事兼台風災害復旧復興推進課長

総合防災室
防災危機管理監

台風災害復旧復興推進室長



- ・ 県南局長
- ・ 沿岸局長
- ・ 県北局長
- ・ 東京事務所長



電話

事務局

事務局

保健福祉部長

文化スポーツ部長

総務部長

秘書広報室長

政策地域部長

環境生活部長

商工労働観光部長

2

農林水産部長

盛岡広域振興局長

医療局長

第4回 令和元年台風災害復旧・復興推進本部会議

県土整備部長

ILC 推進局長

企業局長

復興局長

教育長

（本知事）部長

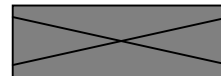
（副本知事）部長

警察本部長

会計納管局長者

出入口

知事出入口



台風第19号災害に伴う被害等の状況

(令和2年3月9日(月)9時現在)

※下線部は1月20日(月)9時現在からの変更箇所

1 被害等の状況

(1) 人的被害

- ア 死者3名(田野畑村1名(男性)、宮古市1名(男性)、釜石市1名(男性))
- イ 重傷4名(盛岡市1名(女性)、釜石市2名(男性、女性)、大船渡市1名(女性))
- ウ 軽傷3名(釜石市2名(女性2)、山田町1名(男性))

(2) 物的被害(住家被害)

- ア 全壊 46世帯
- イ 半壊 838世帯(+5世帯) うち大規模半壊 54世帯
- ウ 一部破損 912世帯(Δ201世帯) ※釜石市 Δ199世帯
- エ 床上浸水 149世帯(+107世帯) ※釜石市 +98世帯
- オ 床下浸水 1,027世帯(+115世帯) ※釜石市 +109世帯

(3) 道路被害

- 県管理道路4路線4か所で全面通行止め
- ※一時、41路線58か所で全面通行止め

(4) 鉄道関係

- ア JR八戸線
 - ・12月1日(日)から全線運行再開
 - ※階上～久慈間の23箇所被害が発生
- イ 三陸鉄道
 - ・3月20日(金・祝)に三陸鉄道リアス線全線運行再開
 - ・久慈～普代間は3月14日(土)に、陸中山田～釜石間は、3月20日(金・祝)に運行再開⇒「県の対応状況等について」に再掲
 - ・9月下旬まで応急復旧箇所について復旧工事を継続
 - ※線路被害は77箇所、電力信号通信被害は16箇所
 - ・盛～釜石、陸中山田～普代間は運行再開
 - ・釜石～陸中山田間と普代～久慈間は、運休のため10月15日(火)から代行バスを運行中

(5) 被害総額

294億9,095万円(Δ110億3,487万円)(うち土木:約150.6億円(Δ110.7億円^{*1})、農林水産:約96.6億円、三陸鉄道:約20億円、商工:約19.5億円(+0.3億円)、環境生活:2.9億円等)

※1 公共土木施設等被害額について、国の災害査定により、金額が決定したもの。
(これまで11月8日(金)の調査完了時点の概算で261.3億円としていたが、国の災害査定の結果、150.2億円が決定した。県営住宅分は災害査定が未了。)

※2 上記以外の被害状況については調査中であり、今後数値が変わる見込み。

2 各分野の被害状況

(1) 文化施設及び社会体育施設

(文化スポーツ部)

ア 県が所有する文化施設及び社会体育施設

被害無し

イ 市町村が所有する文化施設及び社会体育施設

8施設被災 被害額：244,786千円（現在調査中）

市町村	施設名	被害状況	被害額（千円）
釜石市	平田公園野球場	外野観客席スペースに土砂流入、グラウンドに大量の沢水・土砂流入、芝生枯死	100,000
宮古市	宮古市田老野球場	施設全室が床上1m浸水し機器が損壊。駐車場に土砂堆積	139,000
宮古市	宮古運動公園	施設全室が床上2cm浸水。駐車場に土砂堆積	1,000
宮古市	宮古市姉ヶ崎サン・スポーツランド	電力引き込み用の高圧気中開閉器が破損	1,000
山田町	織笠コミュニティ広場	側溝流末付近土砂流出、法面崩落による土砂流入	2,493
久慈市	久慈総合運動場	法面崩壊、敷地土砂流入	調査中
久慈市	宇部マレットゴルフ場	敷地内崩壊、土砂流入等	1,293
普代村	普代村民庭球場	土砂の流入、コート周りフェンス倒壊	調査中

(2) 自然公園施設

(環境生活部)

市町村	被災した自然公園施設（県及び市町村施設の主な被災状況）
久慈市	長距離自然歩道「陸中海岸北限のみち」：落橋2か所、倒木 長距離自然歩道「三崎半島（小袖～久喜区間）」：土砂崩れ4か所、倒木 長距離自然歩道「大尻～小袖迂回路」：土砂崩れ1か所、倒木
普代村	長距離自然歩道「北山崎・黒崎海岸を望むみち」：倒木
田野畑村	長距離自然歩道「北山崎・黒崎海岸を望むみち」：歩道崩落、倒木 鶉の巣断崖遊歩道：倒木
宮古市	集団施設地区「浄土ヶ浜」： ・浄土ヶ浜園地内道路 法面崩落5か所 ・館ヶ崎展望台遊歩道 法面崩落1か所 ・砥石浜～浄土ヶ浜レストハウス間遊歩道 転落防止柵一部破損 ・臼木山遊歩道 法面崩落、倒木 集団施設地区「田老」：三王岩遊歩道及び柵の一部崩落 長距離自然歩道「本州最東端を訪ねるみち」：土砂流入、歩道崩落 小港園地：土砂流入 他
山田町	長距離自然歩道「船越半島を望むみち」（小谷鳥～大釜崎）：歩道崩落 長距離自然歩道「船越半島を望むみち」（小谷鳥海岸～旧タブの木荘） ：階段数か所破損、沢の部分土砂崩れ 荒神海水浴場駐車場：駐車場に隣接する山の土砂崩れ 荒神海水浴場～旧タブの木荘間道路：道路の崩れ 霞露(かろ)が岳渡磯(すくいそ)海岸側入口：倒木 大浦から小根ヶ崎間道路：道路の崩れ
釜石市	長距離自然歩道「石塚峠」：路面の浸食、橋梁の消失 長距離自然歩道「箱崎」：路面の崩落消失
大船渡市	集団施設地区「碁石海岸」：倒木
陸前高田市	蛇ヶ崎園地遊歩道：倒木 黒崎園地遊歩道：倒木

※ 被害額 286 百万円（県及び市町村分）

(3) 市町村別住家被害の状況

(保健福祉部)

(単位：世帯)

市町村	全壊	半壊		一部破損	床上浸水	床下浸水	合計
			うち大規模半壊				
盛岡市				81			81
滝沢市		4		22			26
雫石町				5			5
葛巻町				1			1
紫波町				6			6
矢巾町				12			12
北上市				17			17
遠野市				3			3
奥州市				38		4	42
金ケ崎町				1			1
一関市				23	9	7	39
平泉町				3			3
大船渡市				8	8	9	25
陸前高田市					1	4	5
住田町				1			1
釜石市	8	13	1	4(Δ199)	98(+98)	109(+109)	232(+8)
大槌町	1			1	5	19	26
宮古市	20	429(+4)	26	31(+1)		593(+6)	1,073(+11)
山田町	15	70	16	1		127	213
岩泉町				0(Δ1)	11	68	79(Δ1)
田野畑村		1		0(Δ1)	9(+1)	10	20
久慈市	1	270(+1)	5	597(+6)			868(+7)
普代村	1	39	6	0(Δ6)	6(+6)	77	123
洋野町		4		15	1(+1)		20(+1)
野田村		8		42(Δ1)	1(+1)		51
合計	46	838(+5)	54	912(Δ201)	149(+107)	1,027(+115)	2,972(+26)

(4) 医療機関・社会福祉施設等の被害の状況

(単位：件)

施設区分	床上浸水	床下浸水	停電	断水	一部破損等	被災施設数
医療機関	7	4	6		19	29
救護施設					1	1
老人福祉施設	5	5	2	2	17	28
障がい者福祉施設	4	1	4	4	9	15
児童福祉施設	4		1	3	20	23
合計	20	10	13	9	66	96

注1：被災した全ての施設についてはサービス再開済み

注2：重複して被害を受けている施設もあるため、合計と被災施設数は合わない

(5) 商工関係の被害（企業等）

（商工労働観光部）

市町村	件数	被害額（千円）	主な被害の内容
宮古市	279	827,050	土砂流入、浸水、機械設備等故障、原材料・商品等被害
大船渡市	3	4,100	外壁等損傷、原材料等被害
久慈市	106	359,310	浸水、機械設備等故障、屋根外壁等損傷、原材料・商品等被害
陸前高田市	2	300	浸水
一関市	5	4,900	浸水、屋根外壁損傷
釜石市	91	160,000	土砂流入、浸水、機械設備等故障
奥州市	3	1,900	屋根外壁損傷
滝沢市	5	1,100	看板倒壊、屋根外壁等損傷
紫波町	4	900	屋根外壁等損傷
金ヶ崎町	6	1,450	看板倒壊、機械設備等故障、外壁等損傷
平泉町	2	725	外壁損傷
山田町	17	98,300	土砂流入、浸水、機械設備等故障
大槌町	1	3,000	機械設備被害
岩泉町	8	17,440	浸水
田野畑村	10	71,810	土砂流入、浸水、機械設備等故障、商品等被害
普代村	33	185,090	土砂流入、浸水、機械設備等故障、商品等被害
野田村	17	7,710	浸水、機械設備等故障、外壁等損傷
洋野町	7	9,778	浸水、機械設備等故障、原材料・商品等被害
計	599	1,754,863	

(6) 観光関係の主な被害

（商工労働観光部）

市町村	主な被害の内容
宮古市	浄土ヶ浜（道路崩落等）、震災メモリアルパーク中の浜（モニュメント一部破損）、道の駅たろう（浸水）、鮎ヶ崎（自然歩道崩落）、姉吉キャンプ場（断水等）、小港海水浴場（土砂堆積等）
大船渡市	越喜来浪板海水浴場（土砂流入）
久慈市	もぐらんぴあ（土砂流入）、舟渡海水浴場（緑地帯の洗堀等）
遠野市	たかむろ水光園（看板倒伏）、遠野早池峰ふるさと学校（物置破損等）、寺沢高原（看板破損）
一関市	狛鼻溪（橋桁流失）
釜石市	室浜の宿（土砂流入）
八幡平市	松楓荘（土砂流入）
奥州市	えさし藤原の郷（解説板倒伏）
雫石町	休暇村岩手網張温泉（露天風呂塀倒壊）
平泉町	中尊寺（漏電）
山田町	船越家族旅行村（キャンプサイトの敷地崩落等）
大槌町	浪板不動滝（私道破損等）
岩泉町	浜の駅おもと愛土館（床上浸水）
田野畑村	明戸キャンプ場（送電線断絶）
計	22 施設 182,549 千円

(7) 職業能力開発施設の主な被害

施設名	被害額（千円）	主な被害の内容
宮古高等技術専門学校	8,939	管理棟・寄宿舎・実習棟床上浸水、訓練用機器破損

(8) 農林水産関係の被害

(農林水産部)

区 分		被害額	主な被害の内容
農業	農業施設	1 億 9,402 万円	倉庫、パイプハウス、牛舎、トラクタ等の破損
	農作物等	4億 401 万円	りんごの落下・倒木、ねぎの冠水・倒伏等
	家畜等	3,364 万円	雨水流入によるブロイラーのへい死等
	農地・農業用施設	13 億 4,300 万円	水路の法面崩壊、農地への土砂流入・畦畔崩落等
	小計	19 億 7,467 万円	
林業	林業施設	16 億 207 万円	林道の法面崩壊・路肩決壊等
	林産物	213 万円	菌床ブロック、木炭の浸水
	森林	5,977 万円	倒木等
	林地荒廃	33 億 2,648 万円	山腹崩壊等
	小計	49 億 9,047 万円	
水産	水産関係	12 億 7,025 万円	水産関係施設の破損、養殖ロープ切断、漁船転覆等
	漁港施設等	14 億 2,839 万円	漁港内への土砂流入、ケーソン滑動等
	小計	26 億 9,864 万円	
合 計		96 億 6,380 万円	(調査率 100%、32 市町村で被害)

※端数処理のため合計は一致しない。

(9) 県管理河川の出水状況 (県土整備部)

- ア 溢水により浸水被害が発生した河川
小屋畑川 (久慈市) ほか5河川、溢水による浸水家屋数合計 約 263 戸 (河川課調べ)
- イ 内水により浸水被害が発生した河川
久慈川 (久慈市) 及び秋田川 (野田村)

(10) 県管理道路の通行止め状況 (再掲) (県土整備部)

全面通行止め 41 路線 58 箇所 うち継続 4 路線 4 箇所

(11) 土砂災害発生状況 (県土整備部)

- ア 土石流等 74 箇所 (釜石市ほか7市町村)
- イ がけ崩れ 24 箇所 (田野畑村ほか7市町村)

(12) その他施設の主な被害状況 (県土整備部)

- ① 公園・都市施設関係
 - ア 公園 倒木等 (花巻市ほか8市町)
 - イ 都市施設 区画整理区域内等での土砂流入出 (山田町ほか2市9地区)
- ② 下水道関係
施設浸水等 (山田町、野田村)
- ③ 港湾関係
船揚場コンクリートブロックの一部損壊 (宮古港)
- ④ 県営住宅関係
住宅敷地への土砂流入 (大船渡市1箇所、釜石市2箇所、山田町1箇所)

(13) 公共土木施設等被害状況 (県土整備部)

① 災害査定完了分

※災害査定決定額、百万円未満切り捨て (端数調整により計数は一致しない)

管理別	施設別	被害箇所数	被害額	備考
県 管 理	河 川	94 箇所	18 億 3,300 万円	
	海 岸	0 箇所	0 万円	
	砂 防	5 箇所	1 億 0,100 万円	
	道 路	89 箇所	21 億 0,800 万円	
	橋 梁	1 箇所	9,300 万円	
	港 湾	1 箇所	500 万円	
	公 園	1 箇所	500 万円	
小 計		189 箇所	41 億 3,600 万円	
市 町 村 管 理	河 川	214 箇所	29 億 0,800 万円	
	道 路	463 箇所	72 億 3,600 万円	
	橋 梁	8 箇所	2 億 5,500 万円	
	下 水 道	2 箇所	3 億 3,700 万円	
	公 園	5 箇所	4,500 万円	
	堆積土砂排除	3 箇所	9,700 万円	
小 計		695 箇所	108 億 8,000 万円	
合 計		884 箇所	150 億 1,600 万円	

② 災害査定未了分

※百万円未満切り捨て

管理別	施設別	被害箇所数	被害額	備考
県 管 理	県営住宅	4 箇所	4,800 万円	

(14) 教育施設関係の被害

(教育委員会)

ア 公立学校の被害 (調査率: 100%)

(単位: 校、千円)

学 校 種	学校数	主な被害	被害額
小 学 校	56	校舎等の床上浸水、校舎等の屋根・ガラス等の破損、倒木、土砂流入 など (11市5町)	149,120
中 学 校	39	敷地内の冠水、校舎の屋根の破損、倒木、法面一部崩落 など (9市5町)	54,032
義務教育学校	1	雨漏り (1町)	0
高 等 学 校	39	校舎等の屋根・ガラス等の破損、倒木、防球ネット等の破損 など	5,789
特別支援学校	5	校舎等の屋根・ガラス等の破損 など	3,972
計	140	(11市6町)	212,913

※ 「小学校」には、小中併設校を含むこと。

イ 共同調理場 (給食センター) の被害 (調査率: 100%)

(単位: 施設、千円)

	施設数	主な被害	被害額
共同調理場	3	屋根の破損 など (1市1町)	380

ウ 社会教育施設の被害 (調査率: 100%)

(単位: 施設、千円)

	施設数	主な被害	被害額
社会教育施設	13	ガラス等の破損、倒木、土砂流入、車庫等の浸水 など (4市4町)	6,036

エ 文化財関係の被害 (調査率: 100%)

(単位: 件、千円)

	件 数	主な被害	被害額
文 化 財	14	法面一部崩落、屋根の窓ガラスの破損、倒木、保護盛土等の流出 など (3市4町)	66,486

オ 学用品の被害状況

学 校 種	被害のあった 児童生徒数	対応
小 学 校	4 (1市1町1村)	市町村教育委員会において、災害救助法等に基づき対応
中 学 校	3 (2市)	
県 立 学 校	5	県教育委員会において、災害救助法等に基づき対応
計	12 (2市1町1村)	

(15) 発電施設

(企業局)

発電所名	被害の内容	対応状況	復旧時期	費用
滝 (久慈市) 最大450kW 運転中	管理用道路の路面洗堀	洗堀部を埋め戻した。	10/31(木)	—
北ノ又第二 (八幡平市) 最大3,400kW 運転中	① 市道の路面洗堀	洗堀部を埋め戻した。(八幡平市)	10/21(月)	—
	② 管理用道路の法面崩壊	維持管理業務委託の変更対応により土砂を除去した。	10/19(土)	約20万円
松川 (八幡平市) 最大4,600kW 運転中	放水口に土砂集積	近隣工事に起因する被害であることから、当該工事者が対応した。	10/17(木)	—
		松川発電所は、10月18日(金)まで作業停止した。	10/18(金) 11:20 作業終了 運転開始	

県の対応状況等について

課題	現在の対応状況	今後の対応方向								
1 復旧・復興に関する情報発信	<p>(1) 県広報誌「いわてグラフ」で取り上げた台風災害関連記事（3月号－3月1日発行） ○ なりわいの再生、生活再建、就学支援情報ほか</p> <p>(2) 新聞広報で取り上げた台風災害関連記事（1月18日・19日掲載） ○ 被災者への授業料等の免除（県立学校等） <u>（3月11日掲載）</u> ○ 三陸鉄道リアス線全線運行再開</p> <p>(3) 県ホームページ、SNSによる発信 ア 県ホームページ ・ 被災者への支援情報等を一覧化して掲載 イ 広聴広報課ツイッター ・ 気象情報、交通インフラの状況、被災者支援情報等をツイート 【参考】フォロワー数：67,780件（R2.2.29現在）</p>	各広報媒体を活用して、随時情報発信								
2 復旧・復興に関する提言処理	<p>(1) 電話等による県政提言等の受付状況（10/14～3/6）</p> <table border="1" data-bbox="485 1272 1099 1382"> <thead> <tr> <th rowspan="2">受理件数</th> <th colspan="2">対応状況</th> </tr> <tr> <th>回答済</th> <th>担当課へ参考送付</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 政党等による知事への要望 ア 台風第19号災害対策緊急要望（各部対応） ○ 自由民主党岩手県支部連合会（11/6） ○ 岩手県議会いわて新政会（11/27） ○ 岩手県議会いわて県民クラブ（12/27） イ 令和2年度予算要望（台風災害関連要望含む） ○ 岩手県議会いわて新政会（11/27） ○ 自由民主党岩手県支部連合会（12/5） ○ 日本共産党岩手県委員会（12/13） ○ 国民民主党岩手県総支部連合会、岩手県議会希望いわて（12/25） ○ 岩手県議会いわて県民クラブ（12/27） ※ 県政提言及び知事要望等は、担当部局において対応を検討の上、県の取組状況を要望者に回答（県民の声共有システムを通じ庁内で共有）</p>	受理件数	対応状況		回答済	担当課へ参考送付	4件	2件	2件	担当部局と連携して、随時処理
受理件数	対応状況									
	回答済	担当課へ参考送付								
4件	2件	2件								

県の対応状況等について

課題	現在の対応状況	今後の対応方向												
1 災害対策に要する予算措置	<p>1 9月補正予算（第3号）の編成 被災者の生活再建支援や商工業・農林水産業の再開に向けた支援、道路・河川等の災害復旧に必要な経費199億円余を計上。</p> <p>2 12月補正予算（第5号）の編成 国の「被災者の生活と生業の再建に向けた対策パッケージ」に呼応し、三陸鉄道の支援、地域の生業や落ち込んだ観光需要を早期に再生させるために必要な経費8億円余を計上。</p> <p>3 2月補正予算（第6号）の編成 港湾や農地等の災害復旧や被災市町村を支援するために必要な経費を計上（全体としては、事業費の確定等に伴う所要の整理等により、減額補正となるもの）。</p> <p>4 令和2年度当初予算案の編成 河川等の災害復旧や、三陸鉄道や中小企業を支援するために必要な経費55億円余を計上。</p>	<p>今後も市町村と連携し、被災者の視点に立った復旧・復興の取組を進めていく。</p>												
2 復旧・復興に必要なマンパワーの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道東北地方知事会及び全国知事会による調整により、他県応援職員6人（12/1～3人、1/1～3人）を受入（※）（林業3人、土木2人、事務1人） ※配属先 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="padding-right: 5px;">林業：</td> <td>農林水産部森林保全課</td> </tr> <tr> <td></td> <td>沿岸広域振興局農林部</td> </tr> <tr> <td></td> <td>沿岸広域振興局宮古農林振興センター</td> </tr> <tr> <td>土木：</td> <td>沿岸広域振興局土木部</td> </tr> <tr> <td></td> <td>県北広域振興局土木部</td> </tr> <tr> <td>事務：</td> <td>沿岸広域振興局土木部</td> </tr> </table> ・ 令和2年度は北海道東北地方知事会及び全国知事会による調整により、他県応援職員3人を受入予定（林業2人、事務1人） 	林業：	農林水産部森林保全課		沿岸広域振興局農林部		沿岸広域振興局宮古農林振興センター	土木：	沿岸広域振興局土木部		県北広域振興局土木部	事務：	沿岸広域振興局土木部	
林業：	農林水産部森林保全課													
	沿岸広域振興局農林部													
	沿岸広域振興局宮古農林振興センター													
土木：	沿岸広域振興局土木部													
	県北広域振興局土木部													
事務：	沿岸広域振興局土木部													
3 令和元年台風第19号災害対応の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年台風第19号に係る災害対応の振り返りを行うため、3/6（金）に検討会を開催。 ・ 県、市町村、防災関係機関、有識者等が参集して協議し、検討結果を取りまとめ。 	<p>令和2年4月以降に開催予定の岩手県防災会議において、検討結果を報告するとともに、岩手県地域防災計画の修正案の提示を予定している。</p>												

県の対応状況等について

課題	現在の対応状況	今後の対応方向
三陸鉄道の復旧	<p>・ 田野畑～田老間は 12/28 に、宮古～津軽石間は 11/28 に、津軽石～陸中山田間は 1/16 に、田野畑～普代間は 2/1 に運行再開</p> <p>・ 久慈～普代間は 3/14 に、陸中山田～釜石間は 3/20 に運行再開</p> <p>・ 9月補正及び12月補正予算に三陸鉄道の復旧等を支援する事業を計上。</p> <p>■被災した三陸鉄道株式会社に対し、運賃収入の大幅な減少等に対応できるよう、運転資金を貸し付け（被災事業者支援） 【9月補正予算（300百万円）】<u>県単</u> 【R2当初予算（1,000百万円）】（計上）</p> <p>■三陸鉄道の鉄道施設に係る復旧工事に対する補助（被災事業者支援） [9月補正予算（2,000百万円）]<u>国庫</u> <u>協調補助</u> 【2月現計予算（1,000百万円）】</p> <p>■三陸鉄道株式会社が行う運休区間における代行バスの運行経費に対し補助するとともに、三陸鉄道の全線運行再開に向けた誘客促進の強化（テレビCM、SNS等発信、横断幕、のぼり制作、記念品配布等）を支援（被災事業者支援） 【12月補正（43百万円）】<u>県単</u>（代行バスは、国の措置に県単で上乗せ）</p> <p>■<u>出発式、記念列車運行（3/20）</u></p>	<p>・ <u>3/20日に三陸鉄道全線運行再開</u></p> <p>■ 国等の支援を得ながら、市町村等関係団体との連携を強化し、応急復旧箇所についても全面復旧に向け、全力で取り組んでいく。</p> <p>■ 引き続き、三陸鉄道の運行再開に向けた応援機運の醸成や、運行再開後の利用者回復を図るため、利用促進の取組を強化していく。</p>
被災市町村への人的支援	<p>・ 被災市町村からの土木・農業土木職の派遣要請に基づき内陸市町村や、県外の市町村等に対して派遣を要請中。</p> <p>■令和元年度 6市町村（久慈、釜石、山田、田野畑、普代、洋野）から27名の派遣要請があり、21名を確保</p> <p>■令和2年度 8市町村（宮古、久慈、釜石、山田、田野畑、普代、野田、洋野）において、<u>必要数33名に対し、18名確保の見込み</u></p>	<p>■ 令和元年度の応援職員は、支援業務が終了次第、順次派遣元に帰任している。</p> <p>令和2年度分については、引き続き県内外の自治体等に要請を続け、人材確保に取り組み、派遣要請に応じた自治体等と被災市町村間において具体的な調整を進める。</p>

課題	現在の対応状況	今後の対応方向
被災市町村の財政について	<p>・10月に、被災市町村からの要望に基づき、当面の資金繰りを円滑にするため、普通交付税の繰上げ交付を実施。</p> <p>・11月に、10市町村（宮古、久慈、釜石、大槌、山田、岩泉、田野畑、普代、野田、洋野）の財政担当課を対象に補正予算措置状況等のヒアリングを実施。</p> <p>・12月に、当面の応急対応経費などを含む特別交付税を交付。</p> <p>・1月に、被災市町村の災害査定完了分の災害復旧に係る起債の協議等予定額を取りまとめ、総務省に提出。 また、総務省の特別交付税ヒアリングにおいて、被災市町村の台風第19号に伴う復旧等に要する経費の要望を説明し、提出。</p> <p>・2月に、<u>災害復旧に係る起債の最終協議書を取りまとめ、総務省に提出。</u></p> <p>・3月に、<u>県単独の「特定被災地域復興支援緊急交付金」の2月補正予算を措置。</u></p> <p>■普通交付税の繰上げ交付 9市町村（宮古、久慈、釜石、住田、大槌、山田、岩泉、田野畑、野田）に25.2億円交付（10月18日交付決定、21日現金交付）</p> <p>■特別交付税12月交付 台風第19号災害救助法適用14市町村（宮古、大船渡、久慈、一関、陸前高田、釜石、住田、大槌、山田、岩泉、田野畑、普代、野田、洋野）に32.2億円交付（12月13日交付決定、16日現金交付）</p> <p>■<u>特定被災地域復興支援緊急交付金</u> <u>復旧・復興事業に多額の費用を要する普代村、田野畑村の早期復興を支援【2月補正予算（74百万円）】</u><u>県単</u>（再掲）</p>	<p>■ <u>3月下旬に明らかになる特別交付税3月交付の状況を踏まえながら、引き続き、被災市町村の財政状況を注視する。</u> <u>県単独の交付金については、特別交付税3月交付の状況に応じて交付額の調整を進める。</u></p>

県の対応状況等について

課題	現在の対応状況	今後の対応方向
市町村が所有する施設の復旧	県としては国庫補助申請に係る手続きを行うものであり、各施設の被害額の調査を実施	復旧にあたっては公立社会教育施設災害復旧費補助金を活用する予定であり、 <u>3月中に補助金申請を行う。</u>

県の対応状況等について

課題	現在の対応状況	今後の対応方向
自然公園施設の復旧	<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境省東北地方環境事務所と連携し、復旧工事に向けた被災箇所の現地調査を実施 ○ 被災した自然公園施設の整備費を措置 ※国庫補助事業 【9月補正予算（30百万円）】 【2月現計予算（126百万円）】 【R2当初予算（100百万円）】（計上） 	環境省東北地方環境事務所と連携し、復旧可能な箇所から早期に工事に着手
災害廃棄物処理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 仮置場設置市町村に対し、分別・処理に係る助言等を実施（仮置場からは順次搬出中） ○ 被災市町村の災害廃棄物について広域処理を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年11月1日から普代村の災害廃棄物（可燃ごみ）を二戸地区広域行政組合（二戸地区クリーンセンター）で受入れ（11月15日で終了） ・ 同12月2日から久慈市の災害廃棄物（可燃ごみ）を盛岡市（盛岡市クリーンセンター）で受入れ（12月16日で終了） ○ <u>被災10市町村のうち、岩泉町、野田村及び洋野町において処理終了</u> 	早期処理の完了に向けて、市町村への助言等を実施

県の対応状況等について

課題	現在の対応状況	今後の対応方向																																																		
<p>1 被災者の住宅再建支援</p>	<p>① 被災者生活再建支援法 被災者生活再建支援法が適用された市町村における全壊及び大規模半壊の住家被害を受けた世帯に対し、最大300万円の支援金を支給 本県では、4市町に適用（山田町（11/1）、宮古市、釜石市（11/6）、久慈市（11/15）） 〈市町村別申請件数及び決定件数（3月1日現在）〉</p> <table border="1" data-bbox="336 689 1128 925"> <thead> <tr> <th></th> <th>申請件数</th> <th>決定件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮古市</td> <td>61</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>久慈市</td> <td>9</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>釜石市</td> <td>14</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>山田町</td> <td>50</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>134</td> <td>106</td> </tr> </tbody> </table> <p>※基礎支援金の支給決定：80% 住家被害を受けた94世帯のうち75世帯の基礎支援金が支給決定（決定件数には加算支援金を含む）。</p> <p>② 被災者生活再建支援金支給補助 被災者生活再建支援制度が適用とならない市町村における全壊及び大規模半壊の住家被害を受けた世帯に対し、同制度と同等の支援を行うほか、同制度の対象とならない半壊及び床上浸水世帯に対しても支援金を支給 （被災者支援）【9月補正予算（227百万円）】<u>県単</u> 【2月現計予算（147百万円）】 【R2当初予算（25百万円）】（計上） 〈市町村別支給件数（3月1日現在）〉</p> <table border="1" data-bbox="336 1406 873 2029"> <thead> <tr> <th></th> <th>支給件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮古市</td> <td>291</td> </tr> <tr> <td>大船渡市</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>久慈市</td> <td>143</td> </tr> <tr> <td>一関市</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>陸前高田市</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>釜石市</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>滝沢市</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>大槌町</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>山田町</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>岩泉町</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>田野畑村</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>普代村</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>野田村</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>洋野町</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>666</td> </tr> </tbody> </table> <p>※基礎支援金等の支給完了：71% 住家被害を受けた938世帯のうち663世帯の基礎支援金等が支給完了（支給件数には加算支援金を含む）。</p>		申請件数	決定件数	宮古市	61	51	久慈市	9	7	釜石市	14	9	山田町	50	39	合計	134	106		支給件数	宮古市	291	大船渡市	6	久慈市	143	一関市	8	陸前高田市	0	釜石市	100	滝沢市	4	大槌町	0	山田町	43	岩泉町	11	田野畑村	10	普代村	37	野田村	8	洋野町	5	合計	666	<p>引き続き、各被災市町村と連携し、支援金の早期支給等、被災者の生活再建を支援していく。</p>
	申請件数	決定件数																																																		
宮古市	61	51																																																		
久慈市	9	7																																																		
釜石市	14	9																																																		
山田町	50	39																																																		
合計	134	106																																																		
	支給件数																																																			
宮古市	291																																																			
大船渡市	6																																																			
久慈市	143																																																			
一関市	8																																																			
陸前高田市	0																																																			
釜石市	100																																																			
滝沢市	4																																																			
大槌町	0																																																			
山田町	43																																																			
岩泉町	11																																																			
田野畑村	10																																																			
普代村	37																																																			
野田村	8																																																			
洋野町	5																																																			
合計	666																																																			

	<p>③ 住宅の応急修理 災害によって半壊や大規模半壊等の住家被害を受け、応急的に住宅を修理することで居住可能となる世帯への修理費を支給 (被災者支援)【9月補正予算(654百万円)】 【2月現計予算(410百万円)】</p> <p><市町村別受付件数及び修理完了件数(3月2日現在)></p> <table border="1" data-bbox="336 416 1120 804"> <thead> <tr> <th></th> <th>受付件数</th> <th>完了件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮古市</td> <td>213</td> <td>184</td> </tr> <tr> <td>久慈市</td> <td>96</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>釜石市</td> <td>41</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>山田町</td> <td>54</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>岩泉町</td> <td>7</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>普代村</td> <td>33</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>野田村</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>洋野町</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>449</td> <td>393</td> </tr> </tbody> </table> <p>※応急修理の完了：87.5% <u>受付件数449件のうち393件の修理完了。</u></p> <p>④ 仮設住宅の整備 ・ 応急仮設住宅の必要戸数(見込み※)：5市町村54戸 (宮古市、釜石市、久慈市、山田町、普代村) (東日本大震災仮設住宅活用33戸、みなし仮設住宅21戸) ・ 山田町(1戸)、宮古市(9戸)、久慈市(1戸)及び普代村(1戸)については、みなし仮設住宅提供済 (被災者支援)【9月補正予算(54百万円)】 【2月現計予算(42百万円)】 【R2当初予算(46百万円)】(計上)</p> <p>※当初、市町村からの確認により、最大で92戸と見込んでいたが、うち38戸については、公営住宅への入居や自宅の応急修理希望となったことなどにより、必要戸数が減っていること。</p>		受付件数	完了件数	宮古市	213	184	久慈市	96	94	釜石市	41	35	山田町	54	38	岩泉町	7	6	普代村	33	31	野田村	3	3	洋野町	2	2	合計	449	393	<p>現在、震災仮設住宅を一時使用しているが、今後、応急修理の進捗状況等を踏まえ、台風第19号災害による応急仮設住宅へ変更し、供与する。 引き続き、各被災市町村と連携し、みなし仮設住宅を供与する。</p>
	受付件数	完了件数																														
宮古市	213	184																														
久慈市	96	94																														
釜石市	41	35																														
山田町	54	38																														
岩泉町	7	6																														
普代村	33	31																														
野田村	3	3																														
洋野町	2	2																														
合計	449	393																														
<p>2 被災者の生活支援</p>	<p>○ 国保医療費の減免 市町村が、被災した国民健康保険の被保険者の医療費の一部負担金を免除する際に特別交付金を交付 (被災者支援)【12月補正予算(20百万円)】 【2月現計予算(20百万円)】</p> <p>※介護サービス、障害福祉サービス利用者負担減免は国から市町村へ直接交付 ※令和2年9月末まで、国の特別調整交付金による財政支援が行われる予定</p>	<p>引き続き、各被災市町村と連携し、特別交付金の交付を行っていく。</p>																														
<p>3 医療機関の災害復旧</p>	<p>○ 災害復旧に係る協議書を国へ進達 ○ 3月5日に災害査定の実施予定であったが延期(査定官の新型コロナウイルス感染症対応のため) 2医療機関(直接補助)</p>	<p>医療機関との連絡を密にし、国庫補助手続き等の支援を行う。</p>																														

<p>4 社会福祉施設等の災害復旧</p>	<p>○ 災害復旧に係る協議書を国へ進達 ○ 2月12日から14日に施設災害査定を実施（2施設）</p> <p>■ 国庫補助協議施設 【施設】 ・ 児童福祉施設 2施設</p> <p>※老人福祉施設1施設は、施設側からの申し出により補助協議取下げ（修理不要）</p> <p>※障害者支援施設1施設は他財源による復旧に変更</p> <p>【設備】 ・ 老人福祉施設 4施設</p> <p>※老人福祉施設2施設は、施設側からの申し出等により補助協議取下げ（補助対象外等）</p> <p>（復旧）【9月補正予算（67百万円）】 【2月現計予算（43百万円）】 【R2繰越予算（43百万円）】（計上）</p>	<p>引き続き、各設置主体と連携し、補助金の交付手続きを進めていく。</p>																																										
<p>5 被災した学生の就学支援について</p>	<p>○ 看護師養成所授業料等条例及び施行規則の改正（R元・12月）</p> <p>令和元年台風第19号により下記の被害を受けたと認められる者に係る入学選考料、入学料及び寄宿舎料の免除を規定</p> <p>①住居の全壊又は半壊 ②住居の流失 ③学資を主として負担している者の属する世帯の収入の著しい減少</p> <p>授業料については、同条例及び施行規則の規定により対応</p>	<p>各県立学校等を通じ、制度を周知</p>																																										
<p>6 義援金について</p>	<p>○ 全国から寄せられた義援金約2億9千万円の被災市町村への初回配分を12月20日に実施</p> <p>■ 義援金の受付状況（2月末現在） 344,490,189円</p> <p>■ 初回配分総額及び留保額</p> <table border="1" data-bbox="336 1368 1121 1805"> <thead> <tr> <th>被災区分</th> <th>配分単価</th> <th>被害件数</th> <th>配分額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>死者</td> <td>300,000円</td> <td>3人</td> <td>900,000円</td> </tr> <tr> <td>重傷者</td> <td>150,000円</td> <td>2人</td> <td>300,000円</td> </tr> <tr> <td>全壊</td> <td>300,000円</td> <td>44世帯</td> <td>13,200,000円</td> </tr> <tr> <td>半壊</td> <td>150,000円</td> <td>710世帯</td> <td>106,500,000円</td> </tr> <tr> <td>一部損壊（準半壊）</td> <td rowspan="2">30,000円</td> <td>103世帯</td> <td>3,090,000円</td> </tr> <tr> <td>床上浸水</td> <td>123世帯</td> <td>3,690,000円</td> </tr> <tr> <td>一部損壊（10%未満）</td> <td rowspan="2">15,000円</td> <td>729世帯</td> <td>10,935,000円</td> </tr> <tr> <td>床下浸水</td> <td>869世帯</td> <td>13,035,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>151,650,000円</td> </tr> <tr> <td>留保額</td> <td></td> <td></td> <td>192,840,189円</td> </tr> </tbody> </table>	被災区分	配分単価	被害件数	配分額	死者	300,000円	3人	900,000円	重傷者	150,000円	2人	300,000円	全壊	300,000円	44世帯	13,200,000円	半壊	150,000円	710世帯	106,500,000円	一部損壊（準半壊）	30,000円	103世帯	3,090,000円	床上浸水	123世帯	3,690,000円	一部損壊（10%未満）	15,000円	729世帯	10,935,000円	床下浸水	869世帯	13,035,000円	合計			151,650,000円	留保額			192,840,189円	<p>2回目配分は令和2年4月予定</p>
被災区分	配分単価	被害件数	配分額																																									
死者	300,000円	3人	900,000円																																									
重傷者	150,000円	2人	300,000円																																									
全壊	300,000円	44世帯	13,200,000円																																									
半壊	150,000円	710世帯	106,500,000円																																									
一部損壊（準半壊）	30,000円	103世帯	3,090,000円																																									
床上浸水		123世帯	3,690,000円																																									
一部損壊（10%未満）	15,000円	729世帯	10,935,000円																																									
床下浸水		869世帯	13,035,000円																																									
合計			151,650,000円																																									
留保額			192,840,189円																																									

県の対応状況等について

課題	現在の対応状況	今後の対応方向
1 被災した中小企業の施設・設備の復旧等の支援	<p>○中小企業災害復旧資金（被災事業者支援） 【9月補正予算 415百万円】<u>県単</u> 【R2当初予算 255百万円】（計上） （事業概要） 被災した中小企業者に対して、復旧等に必要な資金を融資するため、金融機関に貸付原資の一部を預託</p> <p>○中小企業災害復旧資金保証料補給補助（被災事業者支援） 【9月補正予算 12百万円】 【2月現計予算 0.9百万円】<u>県単</u> 【R2当初予算 21百万円】（計上） （事業概要） 中小企業災害復旧資金を借り入れた者に対して、融資に係る保証料全額を補給して、負担を軽減するため、岩手県信用保証協会に補助 （対応状況（両事業共通）） ・令和元年11月18日から取扱いを開始 ・ホームページや関係機関を通じた制度の周知を実施 ・金融機関等に対し、被災中小企業者への円滑な資金供給を要請</p> <p>○地域企業再建支援事業費補助（被災事業者支援） 【9月補正予算 200百万円】※地域なりわい再生緊急対策交付金で予算措置 【12月補正後 720百万円】※地域企業再建支援事業費補助に組替 【2月現計予算 952百万円】<u>県1/3・国2/3</u> （事業概要） 被災した事業者の復旧に要する経費の4分の3を市町村へ補助 【国の対策パッケージ】 （対応状況） ・市町村と連携し、被災中小企業者向け制度説明会を実施（12月19日 久慈市、1月7日 普代村、1月27日～30日 宮古市） ・各市町村に当該補助金の活用意向調査を行った結果、9市町村（宮古市、久慈市、一関市、釜石市、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村及び野田村）が活用を予定 ・第1次募集を実施 募集期間：令和元年12月27日～令和2年1月24日 ・第2次募集スケジュール 3月5日 県から各市町村へ募集開始を通知</p>	<p>○ 県単融資制度により、引き続き金融支援を継続する。</p> <p>○ ホームページや関係機関を通じ、引き続き制度の周知を図っていく。</p> <p>○ 市町村や商工団体と連携し、補助事業の円滑な実施を図り、被災した中小企業者の事業再建を支援していく。</p>

課題	現在の対応状況	今後の対応方向
<p>【国の対策パッケージ：国が直接補助】</p> <p>○小規模事業者持続化補助金（被災小規模事業者再建事業） （事業概要） 被災した小規模事業者が、機械・車両購入、店舗改装から広告宣伝まで事業再建に取り組む費用の3分の2を補助 （対応状況） ・募集期間：令和元年12月17日～令和2年1月17日 ・採択件数：10件（宮古市2件、大船渡市1件、久慈市1件、一関市1件、普代村3件）</p> <p>○商店街補助金（商店街にぎわい創出事業） （事業概要） 商店街が集客イベントに取り組む費用を補助（補助率：直接被害は定額、間接被害は3分の2） （対応状況） ・募集期間：令和元年11月13日～令和2年1月8日 ・採択件数：8件（宮古市3件、大船渡市1件、花巻市1件、一関市2件、釜石市1件）</p>		
<p>2 県・市町村の観光施設の復旧等の取組</p>	<p>○船越家族旅行村災害復旧事業費（復旧） 【9月補正予算 19百万円】<u>県単</u> （事業概要） 土砂流入等の被害を受けた船越家族旅行村の復旧工事を実施 （対応状況） 令和2年2月から土砂等の撤去を実施中</p> <p>○地域なりわい再生緊急対策交付金（復旧） 【9月補正予算 200百万円】 【2月現計予算 39百万円】<u>県1/2</u> （事業概要） 観光施設の復旧等に要する経費を、甚大な被害を受けた市町村へ交付 （対応状況） ・令和元年11月19・20日 宮古市・久慈市において国と合同で事業説明会を開催 ・令和2年2月21日 対象市町村から事業実施計画書を受付 ・令和2年3月上旬～ 対象市町村からの事業実施計画を踏まえ、交付額の内定及び交付決定</p>	<p>○土砂等の撤去は年度内に完了予定</p> <p>○市町村で復旧工事等実施（観光・物産PRイベントは令和元年度実施事業を交付対象）</p>

課題	現在の対応状況	今後の対応方向																		
<p>3 落ち込んだ観光需要の早期回復及び喚起</p>	<p>○いわてふっこう割事業費（被災事業者支援） 【12月補正予算 46百万円】<u>国10/10</u></p> <p>（事業概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光需要を回復及び喚起するため、国の観光支援事業費補助金を活用し、県内での1泊以上の旅行・宿泊料金の割引を支援 ・県内宿泊施設での宿泊が対象 〔宿泊料金ごとの助成限度額〕 <table border="1" data-bbox="395 546 1161 797"> <thead> <tr> <th></th> <th>1人1泊当たりの宿泊料金（税抜）</th> <th>1人1泊当たりの助成限度額</th> <th>旅行者1人当たりの助成限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">日本人旅行者</td> <td>10,000円以上</td> <td>5,000円</td> <td rowspan="3">1旅行当たり 15,000円</td> </tr> <tr> <td>5,000円以上</td> <td>3,000円</td> </tr> <tr> <td>3,000円以上</td> <td>1,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外国人旅行者</td> <td>10,000円以上</td> <td>5,000円</td> <td rowspan="2">1旅行当たり 50,000円</td> </tr> <tr> <td>5,000円以上</td> <td>3,000円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・対象期間は、以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ① 災害救助法適用市町村 令和2年2月3日（月）～3月1日（日）の宿泊分 ② その他市町村 令和2年2月10日（月）～3月1日（日）の宿泊分 <p>（対応状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月9日・10日 宮古市・盛岡市において説明会、県ホームページで周知 ・1月20日～31日 実施計画受付 ・2月3日又は10日～3月1日 対象期間 <p>○地域なりわい再生緊急対策交付金（復旧）（再掲） 【9月補正予算 200百万円】 【2月現計予算 39百万円】<u>県1/2</u></p> <p>（事業概要）</p> <p>観光・物産PRイベント等に要する経費を、甚大な被害を受けた市町村へ交付</p> <p>（対応状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年11月19・20日 宮古市・久慈市において国と合同で事業説明会を開催 ・令和2年2月21日 対象市町村から事業実施計画書を受付 ・令和2年3月上旬～ 対象市町村からの事業実施計画を踏まえ、交付額の内定及び交付決定 		1人1泊当たりの宿泊料金（税抜）	1人1泊当たりの助成限度額	旅行者1人当たりの助成限度額	日本人旅行者	10,000円以上	5,000円	1旅行当たり 15,000円	5,000円以上	3,000円	3,000円以上	1,000円	外国人旅行者	10,000円以上	5,000円	1旅行当たり 50,000円	5,000円以上	3,000円	<p>○ 同補助金の活用を図りながら、冬季の観光需要を喚起する。</p> <p>○事業完了予定 3月31日</p> <p>○ 市町村で復旧工事等実施（観光・物産PRイベントは令和元年度実施事業を交付対象）</p>
	1人1泊当たりの宿泊料金（税抜）	1人1泊当たりの助成限度額	旅行者1人当たりの助成限度額																	
日本人旅行者	10,000円以上	5,000円	1旅行当たり 15,000円																	
	5,000円以上	3,000円																		
	3,000円以上	1,000円																		
外国人旅行者	10,000円以上	5,000円	1旅行当たり 50,000円																	
	5,000円以上	3,000円																		

課題	現在の対応状況	今後の対応方向
	<p>【国の対策パッケージ：国が直接支援】</p> <p>○地域の魅力発信による消費拡大事業 (事業概要) 被災地域の復興に向けた風評被害払拭や旅行者による需要喚起のため、当該地域にある地域資源の魅力を、メディア・インフルエンサー等の招聘や商談会・セミナー等を通じて情報発信・PR</p> <p>○観光需要喚起に向けた対策（訪日プロモーション） (事業概要) ・訪日数の伸びの早急な回復を図るため、メディア・旅行会社・旅行者に対し、正確な情報を発信 ・現地の報道ぶりや訪日旅行の予約状況など各市場の状況を踏まえつつ、各地の復旧状況にあわせ、被災地域を対象としたプロモーションを集中的に実施</p>	
<p>4 被災した学生の就学支援について</p>	<p>○職業能力開発校条例の改正（R元・12月議会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年台風第19号により下記の被害を受けたと認められる者について、高等技術専門校（千厩、宮古、二戸）の入校検定料、入校料及び寄宿舎料の免除を規定 <p style="margin-left: 20px;">①住居の全壊又は半壊 ②住居の流失 ③学資を主として負担している者の属する世帯の収入の著しい減少</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業料については、同条例及び施行規則の規定により減免 <p>○産業技術短期大学校条例の改正（R元・12月議会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年台風第19号により下記の被害を受けたと認められる者について、産業技術短期大学校（本校、水沢校）の入学検定料、入学料及び寄宿舎料の免除を規定 <p style="margin-left: 20px;">①住居の全壊又は半壊 ②住居の流失 ③学資を主として負担している者の属する世帯の収入の著しい減少</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業料については、同条例及び施行規則の規定により減免 	<p>○ 各高等技術専門校等を通じ、制度を周知する。</p> <p>○ 各産業技術短期大学校等を通じ、制度を周知する。</p>

県の対応状況等について

1 農業分野

課題	現在の対応状況	今後の対応方向
(1) 農業施設・機械の復旧	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業施設（畜舎、園芸用ハウス等）や機械の復旧等に係る経費の一部を補助（被災農業者緊急支援事業） 【9月補正予算（131百万円）】国庫 【2月現計予算（66百万円）】 【国の対策パッケージ・県の上乗せ補助】 ○ 市町村、JA等に対し、復旧対策に係る事業説明会を開催（R元年11月22日） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交付決定：R2年3月中旬 ・ 予定件数 52件 ○ 事業完了予定：R2年8月
(2) 営農再開に向けた支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 牧草・稲わらの流出等による代替粗飼料の確保を支援（農作物災害復旧対策事業） 【9月補正予算（6百万円）】県単 ・ 要望を取りまとめ済み (R元年11月20日) ○ ほ場等に堆積した稲わら等の処理を支援（持続的生産強化対策事業（産地緊急支援対策）） 【国の対策パッケージ・国の直接採択事業】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交付決定：R2年3月中旬 ・ 予定市町村数 3市町 ○ 事業完了予定：R2年3月 ○ 事業完了予定：R2年3月
(3) 販路の回復（落果・風害果のPR）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 被害のあったりんご等の販売対策を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災りんごの加工支援 276トン（7JA） ・ 枝擦れ果実の出荷支援 46トン（7JA） ○ 県産りんごのプロモーション（APPLE 2 WEEKS 2019）を実施 (R元年12月1日～14日) <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内百貨店や量販店、産直等での果実、加工品販売会、台風関連商品の販売等 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 対応済み ○ 対応済み

課題	現在の対応状況	今後の対応方向
(4) 農地・農業用施設の復旧	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農地・農業用施設の災害復旧 (団体営農地等災害復旧事業(補助災)) 【9月補正予算(338百万円)】国庫 【2月現計予算(545百万円)】 【R2当初予算(45百万円)】(計上) <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災した市町村の要請に応じ、県の技術職員による被害調査や復旧工法の検討等の業務を支援 ・ 被害が甚大な久慈市及び洋野町には、県の技術職員が常駐し災害査定業務を支援 ・ 災害査定：実施済み (R元年12月2日～25日) (農地：56箇所、農業用施設：67箇所) ・ 補助率増高申請：R2年1月16日 ○ 国庫補助等の対象とならない小規模な農地・農業用施設の災害復旧 (小規模農地等災害復旧事業) 【9月補正予算(2百万円)】県単 【2月現計予算(3百万円)】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災した市町村において約70箇所程度実施見込み ○ 被災地域の就労機会の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農林水産部所管の県営建設工事において、被災農林漁家を優先雇用するよう、工事受注者に協力を要請 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交付決定：R2年3月中旬 ・ 交付決定予定 123件 ○ 交付決定：R2年2月21日～ ・ 交付決定予定 70件
(5) 被災した学生の就学支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業大学校条例の改正 (R元年・12月議会) <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年台風第19号により下記の被害を受けたと認められる者に係る入学検定料、入学料の免除を規定 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ① 住居の全壊又は半壊 ② 住居の流失 ③ 学資を主として負担している者の属する世帯の収入の著しい減少 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業料については、同条例及び施行規則の規定により対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業大学校のホームページ等を通じ、制度を周知

2 林業分野

課題	現在の対応状況	今後の対応方向
(1) 林道施設の復旧	<ul style="list-style-type: none"> ○ 林道を管理する市町村に対し、測量設計業務と査定設計書の作成を支援 ○ 生活道として利用されている林道の被災箇所について、市町村が行う応急工事を支援 ○ 林道施設の災害復旧 (林道施設災害復旧事業) 【9月補正予算(893百万円)】<u>国庫</u> 【2月現計予算(793百万円)】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害査定：実施済み(44路線79箇所) (R元年12月16日 ~R2年1月10日) ・ 補助率増高申請：R2年1月30日 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市町村が行う災害復旧事業等を支援していく。 ○ 交付決定：R2年3月中旬 ・ 交付決定予定 79件
(2) 林地荒廃等の復旧	<ul style="list-style-type: none"> ○ 林地荒廃被害による再度災害を防止する治山施設を整備 (災害関連緊急治山事業) 【9月補正予算(378百万円)】<u>国庫</u> 【2月現計予算(267百万円)】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費決定の通知：R元年11月28日、 R元年12月9日 (復旧治山事業等) 【R2当初予算(205百万円)】(計上)<u>国庫</u> ○ 国の復旧事業の対象とならない林地荒廃等を復旧 (県単独治山事業) 【9月補正予算(132百万円)】<u>県単</u> 【2月現計予算(65百万円)】 (県単独治山災害復旧事業) 【9月補正予算(97百万円)】<u>県単</u> 【2月現計予算(92百万円)】 ○ 被害森林や作業道等の復旧を支援 (森林整備事業) 【2月現計予算(100百万円)※】<u>国庫</u> ※9月補正予算から財源を組み替えたもの <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業主体が、作業道の復旧事業をR2年1月下旬に発注し、復旧作業に着手 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発注時期：R2年5月下旬～ ・ 発注予定 6件 ○ 事業完了予定：R3年3月 ○ 発注時期：R2年9月下旬～ ・ 発注予定 6件 ○ 事業完了予定：R3年3月 ○ 発注時期：R2年3月下旬～ ・ 発注予定 14件 ○ 事業完了予定：R3年3月 ○ 発注時期：R元年12月18日～ ・ 復旧済み 1件 ・ 発注予定 5件 ○ 事業完了予定：R3年3月 ○ 市町村、森林組合等が行う復旧事業を支援していく。
(3) 林産施設等の復旧	<ul style="list-style-type: none"> ○ 木材加工流通施設の復旧支援 (林業・木材産業成長産業化促進対策) 【9月補正予算(9百万円)】<u>国庫</u> 【2月現計予算(0.8百万円)】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 復旧対象：6社 ・ 復旧完了：5社 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国等の支援策を活用し、被災施設の復旧を支援していく。

3 水産分野

課題	現在の対応状況	今後の対応方向
<p>(1) 水産関係施設等の復旧 (サケ、マスふ化場を含む)</p>	<p>○ 水産関係共同利用施設の復旧等に係る経費の一部を補助 (水産業被災施設復旧整備事業) 【9月補正予算(382百万円)】<u>国庫</u> 【2月現計予算(269百万円)】 【国の対策パッケージ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回採択事業要望調査完了 (R元年11月15日) ・ 国の事業ヒアリング (R元年12月19日) <p>○ 水産物生産施設の早期復旧を図るため、施設の修繕、関連機器や資材の復旧等に要する経費を支援 (水産業復旧緊急支援対策事業) 【9月補正予算(178百万円)】<u>県単</u> 【2月現計予算(43百万円)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前要望調査完了(R元年12月5日) <p>○ サケ等の種苗生産施設に係る堆積物の除去・処分に要する経費を支援 (水産業復旧緊急支援対策事業) 【9月補正予算(178百万円)】<u>県単</u> 【2月現計予算(43百万円)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前要望調査完了(R元年12月5日) 	<p>○ 交付決定：R2年3月中旬 ・ 交付決定予定 7件 (2市)</p> <p>○ 事業完了予定：R2年12月</p> <p>○ 交付決定：R2年2月28日 <u>完了</u> ・ 交付決定済み 31件 (9市町村)</p> <p>○ 事業完了予定：R2年3月</p> <p>○ 交付決定：R2年1月15日 <u>完了</u> ・ 交付決定済み 7件 (3市町村)</p> <p>○ 事業完了予定：R2年3月</p>
<p>(2) 漁港施設等の復旧</p>	<p>○ 漁港施設の復旧 (漁港施設災害復旧事業) 【9月補正予算(60百万円)】<u>国庫</u> 【2月現計予算(42百万円)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 復旧対象：14箇所(4市町) ・ <u>復旧完了：2箇所</u> ・ 災害査定：実施済み (R元年12月9日～12日) <p>○ 漁業用施設及び漁業集落環境施設の復旧 (漁業用施設災害復旧事業) 【9月補正予算(195百万円)】<u>国庫</u> 【2月現計予算(122百万円)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 復旧対象：1箇所(1市) ・ 災害査定：実施済み (R元年12月9日～12日) <p>(漁港関係災害関連事業のうち、災害関連漁業集落環境施設復旧事業) 【9月補正予算(100百万円)】<u>国庫</u> 【2月現計予算(19百万円)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 復旧対象：2箇所(1市) ・ 応急仮工事完了済み：2箇所 ・ 災害査定：実施済み (R元年12月9日～12日) 	<p>○ 発注：R元年11月20日完了 ・ 発注済み 2件</p> <p>○ 交付決定：R2年3月4日完了 ・ 交付決定済み 12件 (うち復旧完了 2件)</p> <p>○ 事業完了予定：R2年12月</p> <p>○ 交付決定：R2年2月18日 <u>完了</u> ・ 交付決定済み 1件</p> <p>○ 交付決定：R2年2月18日 <u>完了</u> ・ 交付決定済み 2件</p>

課題	現在の対応状況	今後の対応方向
	<p>○ 国の災害復旧事業の対象とならない漁港施設等の復旧 (県単独漁港災害復旧事業費) 【9月補正予算(244百万円)】<u>県単</u> 【2月現計予算(196百万円)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 復旧対象：54箇所(10市町村) ・ 流木等撤去・仮置完了：38箇所 (流木等運搬・処理完了：10箇所) ・ 埋そく土砂撤去・仮置完了：4箇所 (埋そく土砂運搬・処理完了：3箇所) 	<p>○発注時期：R元年10月中旬～ ・発注済み <u>54件</u> ○事業完了予定：R2年6月</p>

県の対応状況等について

課題	現在の対応状況	今後の対応方向
1 県管理道路の通行止め	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全面通行止め解除に向けた対応（復旧） 【9月補正予算（700百万円）】 【2月現計予算（620百万円）】 ・ 4路線4箇所¹で全面通行止め継続。 水海大渡線（釜石市両石町） 桜峠平田線（釜石市唐丹町） 侍浜停車場阿子木線（洋野町阿子木） 姉帯戸田線（九戸村戸田） ・ 令和元年度末から2年度初めにかけて、本復旧工事に着手予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早期の通行止め解除に向け、速やかに工事を発注。
2 被災した公共土木施設等の早期復旧等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公共土木施設等の早期復旧（復旧） 【9月補正予算（4,582百万円）】 【2月現計予算（3,078百万円）】 【R2当初予算（2,767百万円）】（計上） ・ 令和元年11月19日から始まった道路、河川等の被災箇所の災害査定が、1月31日に全て終了。 ・ 県市町村合わせて、884箇所、約150億円が決定。 ・ 県営住宅（駐車場法面の崩壊等）については、復旧に向け、災害申請予定。 ・ 東日本大震災津波からの復旧・復興事業として工事実施中の道路の被災箇所については、対応等を国と協議中。 ○ 河川（復旧） 【9月補正予算（752百万円）】 【2月現計予算（742百万円）】 【R2当初予算（224百万円）】（計上） ・ 被災した護岸の補修、堆積土砂の撤去等を実施中。 ・ 家屋等の浸水被害があった河川については、洪水により河道に堆積した土砂の緊急的な撤去を進めるとともに、<u>小屋畑川などでは、浸水範囲や洪水痕跡などの調査を踏まえ、事業導入に向けた検討を進めている。</u> ○ 砂防（復旧） 【9月補正予算（5,412百万円）】 【2月現計予算（2,720百万円）】 【R2当初予算（1,013百万円）】（計上） ・ 土砂災害が発生した箇所において、応急対策を実施中。 ・ 10箇所において、災害関連緊急砂防事業が事業採択。（釜石市5箇所、山田町4箇所、岩泉町1箇所） ・ 4箇所において、災害関連地域防災がけ崩れ対策事業が事業採択。（田野畑村3箇所、普代村1箇所） ・ 上記以外の箇所においても、R2年度新規事業として、砂防激甚災害対策特別緊急事業等の採択に向け、国と調整中。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本復旧に向け速やかに工事を発注。 ・ 引き続き、国と調整を進める。 ・ 左記道路については、令和2年度の供用開始を目指し、整備を推進。 ・ 護岸の補修、堆積土砂の撤去等を推進。 ・ 再度の浸水被害防止に向けた必要な対策を検討。 ・ 地元調整が整った箇所から、順次、応急対策を実施。 ・ 引き続き、国と調整を進める。
3 住宅再建等への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 応急仮設住宅等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県営住宅の一時避難供与体制を整備。 ○ 自力再建への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅金融支援機構等の支援情報を県ホームページ掲載により周知。 ・ <u>岩手県建築住宅センターによる住宅再建に向けた相談体制を整備。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関と連携した相談会等を開催。

県の対応状況等について

課題	現在の対応状況	今後の対応方向
1 公立小中学校施設の災害復旧事業について	<p>(1) 学校施設 4市1町9校（小学校6校、中学校3校）において、公立学校施設災害復旧費を活用した復旧事業を申請。 <u>文部科学省による現地調査実施済</u> 《文科省：公立学校施設災害復旧費》</p> <p>(2) 文化財・社会教育施設 県立の社会教育施設については、<u>復旧済</u>。 市町村立の施設や文化財については、<u>軽微なものについては、復旧済</u>。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費交付決定通知 通知予定日：R2.3.16 <p>被害が大きいものについては、該当市町村と連携し、災害復旧費や文化財保護費等の国庫補助を活用し復旧予定。</p>
2 被災した児童生徒の就学支援について	<p>(1) 県立学校授業料等条例の改正 (R元・12月議会) 令和元年台風第19号により下記の被害を受けたと認められる者に係る入学選考料、入学料、通信制受講料及び寄宿舎料の免除を規定。</p> <p>①住居の全壊又は半壊 ②住居の流失 ③学資を主として負担している者の属する世帯の収入の著しい減少</p> <p>授業料については、同条例及び施行規則の規定により対応。</p> <p>(2) 被災児童生徒就学支援等事業交付金等 ・2市1町(19人)の交付申請を行い、<u>文部科学省からのR2.2.20付け交付決定を市町へ通知(R2.2.25通知済)</u> 《文科省：被災児童生徒就学支援等事業交付金》</p> <p>○被災児童生徒就学援助事業費補助 【2月補正予算(1,664千円)】 【R2当初予算(13,744千円)】(計上) ※ 台風19号対応分</p> <p>○高校奨学事業費補助 【2月補正予算(2,556千円)】 【R2当初予算(2,772千円)】(計上) ※ 台風19号対応分</p>	<p>各市町村教育委員会、各県立学校等を通じ、制度を周知。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国では「被災児童生徒就学支援等事業交付金(大規模災害)」(補助率：2/3)による対応を検討。 ・市町村教委に対し、国の対応が決まり次第、速やかに交付金申請手続きを進めることができるよう準備依頼済。 ・文部科学省へ実績額を報告(R2.3月下旬)
3 被災した児童生徒のこころのサポートについて	<p>県内の公立学校に配置しているスクールカウンセラーや、東日本大震災津波の発災以降、沿岸部の教育事務所に配置している巡回型カウンセラーが定期的に学校を訪問している他、緊急の要請にも対応できる体制ができており、児童生徒及び教職員の心のサポートに対応。</p>	<p>引き続き取組を継続。</p>

県の対応状況等について

課題	現在の対応状況	今後の対応方向								
<p>1 農業関係 (1) 飼料用とうもろこしの倒伏被害に伴う代替飼料の確保</p>	<p>管内全市町に対し、「農作物災害復旧対策事業」の要望調査を実施（11/8） 雫石町において同事業を活用予定。県は9月補正予算措置済であり、町3月補正予算議決（3/9予定）後、事務手続きを行う 〈雫石町からの要望〉 飼料用とうもろこしの倒伏被害に伴う代替飼料確保対策の要望（11/18）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸数 1戸（酪農家） ・被害面積 5.0ha ・事業費 3,472千円 ・事業主体 新岩手農協酪農部会 <p>※「農作物災害復旧対策事業」の補助率 県：1/3、市町村：1/3</p>	<p>・代替飼料の購入（遡及適用が可能であり、一部購入済み）</p>								
<p>(2) 被害施設の復旧</p>	<p>令和元年度強い農業・担い手づくり総合支援交付金（被災農業者支援型）の要望調査を実施 〈雫石町からの要望〉</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>事業費合計</td> <td style="text-align: right;">8,370千円</td> </tr> <tr> <td>畜舎（酪農）</td> <td style="text-align: right;">2件 5,030千円</td> </tr> <tr> <td>畜産関係施設（堆肥舎）</td> <td style="text-align: right;">2件 2,185千円</td> </tr> <tr> <td>農作業用施設（作業小屋）</td> <td style="text-align: right;">1件 1,155千円</td> </tr> </table> <p>〈対応状況〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国からの計画承認通知を受け、交付決定済み。 ・被災案件5件のうち4件は年度内に支出予定であり、1件は繰越。 	事業費合計	8,370千円	畜舎（酪農）	2件 5,030千円	畜産関係施設（堆肥舎）	2件 2,185千円	農作業用施設（作業小屋）	1件 1,155千円	<p>・継続的な状況の把握及びフォロー</p>
事業費合計	8,370千円									
畜舎（酪農）	2件 5,030千円									
畜産関係施設（堆肥舎）	2件 2,185千円									
農作業用施設（作業小屋）	1件 1,155千円									
<p>(3) 台風被害に対応した技術支援</p>	<p>農作物技術情報の提供による事後対策及び被害防止の周知・指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被害発生直後、デントコーン倒伏があった農家に対し、刈取時の対応を現地指導 	<p>・栽培指導会等での技術支援・情報提供（台風来襲時の対応についての事前周知等）</p>								
<p>2 土木関係 (1) 公共土木施設の早期復旧</p>	<p>公共土木施設の災害査定の実施（12/16～20 第3次災害査定結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川災害5件： <ul style="list-style-type: none"> 一級河川松川（八幡平市山後橋下地区ほか）3件、一級河川安比川（八幡平市黒沢地区ほか）2件、決定額 140,033千円 ・砂防施設災害1件：八幡平市妻の神公園地区 決定額 34,086千円 <p>災害復旧工事の発注 全工事について入札を終え契約手続き中</p>	<p>・全工事3月下旬契約見込み。 (R2年度末全工事完成予定)</p>								

県の対応状況等について

課題	現在の対応状況	今後の対応方向																																					
1 道路や河川の早期復旧・整備	<p>○災害査定終了（R1. 12. 16～26）</p> <p>○本復旧に向けた工事発注状況 発注予定件数及び査定決定額</p> <table border="0"> <tr> <td>件数</td> <td>50件</td> <td>985,896千円</td> </tr> <tr> <td>県工事</td> <td>16件</td> <td>370,195千円</td> </tr> <tr> <td>市町工事</td> <td>34件</td> <td>615,701千円</td> </tr> </table> <p>うち発注済</p> <table border="0"> <tr> <td>件数</td> <td>27件</td> </tr> <tr> <td>県工事</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>市町工事</td> <td>21件</td> </tr> </table> <p>【県・市町の内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>県工事</td> <td>16件（道路 3、河川 13）</td> </tr> <tr> <td>市町工事</td> <td>34件（道路 17、河川 17）</td> </tr> </table>	件数	50件	985,896千円	県工事	16件	370,195千円	市町工事	34件	615,701千円	件数	27件	県工事	6件	市町工事	21件	県工事	16件（道路 3、河川 13）	市町工事	34件（道路 17、河川 17）	<p>○本復旧に向けた工事発注の準備を進める。</p> <p>○工事は令和2年度中に完了予定</p> <p>【センターごとの内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>県南土木部</td> <td>7件</td> <td>163,369千円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">（道路1件、河川3件、奥州市1件、金ヶ崎町2件）</td> </tr> <tr> <td>一関土木C</td> <td>20件</td> <td>202,281千円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">（道路1件、河川4件、一関市7件、平泉町8件）</td> </tr> <tr> <td>千厩土木C</td> <td>23件</td> <td>620,246千円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">（道路1件、河川6件、一関市16件）</td> </tr> </table>	県南土木部	7件	163,369千円	（道路1件、河川3件、奥州市1件、金ヶ崎町2件）			一関土木C	20件	202,281千円	（道路1件、河川4件、一関市7件、平泉町8件）			千厩土木C	23件	620,246千円	（道路1件、河川6件、一関市16件）		
件数	50件	985,896千円																																					
県工事	16件	370,195千円																																					
市町工事	34件	615,701千円																																					
件数	27件																																						
県工事	6件																																						
市町工事	21件																																						
県工事	16件（道路 3、河川 13）																																						
市町工事	34件（道路 17、河川 17）																																						
県南土木部	7件	163,369千円																																					
（道路1件、河川3件、奥州市1件、金ヶ崎町2件）																																							
一関土木C	20件	202,281千円																																					
（道路1件、河川4件、一関市7件、平泉町8件）																																							
千厩土木C	23件	620,246千円																																					
（道路1件、河川6件、一関市16件）																																							
2 農地等の被災箇所の早期復旧	<p>○国の災害復旧事業等を活用した早期復旧に向け、職員の派遣等により復旧工法の助言や被害額の算定を支援</p> <p>○災害査定終了（R1. 12. 9～25）</p> <p>○国庫補助率増高申請済（R2. 1. 15）</p> <p>○市町において、3月中の工事契約に向けて手続き中</p> <p>発注予定件数及び事業費</p> <table border="0"> <tr> <td>件数</td> <td>38件</td> <td>135,516千円</td> </tr> <tr> <td>農地</td> <td>21件</td> <td>59,815千円</td> </tr> <tr> <td>農業用施設</td> <td>17件</td> <td>75,701千円</td> </tr> </table> <p>うち発注済件数</p> <table border="0"> <tr> <td>件数</td> <td>35件</td> </tr> <tr> <td>農地</td> <td>19件</td> </tr> <tr> <td>農業用施設</td> <td>16件</td> </tr> </table> <p>○市町から県南局へ国庫補助金交付申請済</p> <p>○県南局から市町へ補助金交付決定済</p>	件数	38件	135,516千円	農地	21件	59,815千円	農業用施設	17件	75,701千円	件数	35件	農地	19件	農業用施設	16件	<p>○工事は5月の耕作前までに完了予定（一部は8月完了予定）</p> <p>【市町の内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>一関市</td> <td>29件（農地 19、施設 10）</td> </tr> <tr> <td>奥州市</td> <td>7件（農地 2、施設 5）</td> </tr> <tr> <td>金ヶ崎町</td> <td>2件（農地 0、施設 2）</td> </tr> </table>	一関市	29件（農地 19、施設 10）	奥州市	7件（農地 2、施設 5）	金ヶ崎町	2件（農地 0、施設 2）																
件数	38件	135,516千円																																					
農地	21件	59,815千円																																					
農業用施設	17件	75,701千円																																					
件数	35件																																						
農地	19件																																						
農業用施設	16件																																						
一関市	29件（農地 19、施設 10）																																						
奥州市	7件（農地 2、施設 5）																																						
金ヶ崎町	2件（農地 0、施設 2）																																						
3 復旧業務に対する業務支援状況	<p>○支援先（専従） 沿岸土木部、宮古土木センター</p> <p>○支援業務 公共土木施設の災害復旧</p> <p>○期間及び人数</p> <table border="0"> <tr> <td>県南土木</td> <td>12月1日～1月17日、1名分</td> </tr> <tr> <td>花巻土木</td> <td>1月7日～31日、1名分</td> </tr> <tr> <td>遠野土木</td> <td>12月1日～27日、1名分</td> </tr> </table>	県南土木	12月1日～1月17日、1名分	花巻土木	1月7日～31日、1名分	遠野土木	12月1日～27日、1名分	<p>○今後も関係部局等からの要請に基づき必要な支援を実施していく。</p>																															
県南土木	12月1日～1月17日、1名分																																						
花巻土木	1月7日～31日、1名分																																						
遠野土木	12月1日～27日、1名分																																						

県の対応状況等について

課題	現在の対応状況	今後の対応方向
1 災害復旧工事の着実な推進	<p>(1) <u>被害状況等</u>〔※県：県事業、市町村：市町村事業〕</p> <p>① 土木関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・554箇所〔県106、市町村448〕 工事費 11,013,008千円 <p>② 農林関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地・農業用施設 17箇所〔市町村17〕 工事費 221,535千円 ・林道施設 25路線〔県1、市町村24〕 工事費 467,872千円 ・治山施設 林地荒廃被害対策の治山施設の整備 20箇所 事業費 560,981千円 <p>③ 水産関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁港施設等 16箇所〔県2、市町村14〕 工事費 555,133千円 ・サケ孵化場等 7箇所〔市町村7〕 事業費 435,587千円 	<p>(1) 工事完成等</p> <p>早期に災害復旧工事を発注し、来年度中の復旧を目指す。</p> <p>① 土木関係（県106、市町村448）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R1年度完成（市町村） 2箇所 ・R2年度完成（県） 71箇所 （市町村） 81箇所 ・R3年度完成（県） 35箇所 （市町村） 55箇所 <p>※ 宮古市、山田町、田野畑村分の310箇所は設計中であり、上記完成箇所数には含まれていないこと。</p> <p>② 農林関係</p> <p>≪農地・農業用施設（市町村17）≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R2年度完成予定 17箇所 （R2年度の営農に支障ないよう復旧する予定。） <p>≪林道施設（県・市町村25）≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R2年度完成 17路線 ・R3年度完成 8路線 <p>≪治山施設（県20）≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R1年度完成 3箇所 ・R2年度完成 13箇所 ・R3年度以降完成 4箇所 <p>③ 水産関係</p> <p>≪漁港施設等（県・市町村16）≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R1年度完成 2箇所 ・R2年度完成 14箇所 <p>≪サケ孵化場等（市町村7）≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R1年度完成 1箇所 ・R2年度完成 6箇所
2 災害対応に係る県外からの応援	<p>土砂災害対策及び林道災害復旧の対応ため、県外から派遣された応援職員4名が配属</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林部 1名〔富山県〕(1/1～) ・宮古農林（林務室） 1名〔秋田県〕(12/1～) ・土木部 2名〔高知県、鹿児島県〕(1/1～) 	<p>応援派遣期間：～3/31</p>
3 被災市町村への支援	<p>(1) 台風災害検証委員会への参画 検証委員として振興局職員が参画し、土砂災害防止の観点から、技術助言等を実施。</p> <p>① <u>山田町田の浜地区台風第19号水害検証委員会（11/28第1回、2/10第2回、3/16第3回委員会開催、3/24町に検証結果報告書を提出）</u></p> <p>② <u>釜石市令和元年度台風災害検証委員会（1/24第1回、3/23第2回委員会開催）</u></p> <p>(2) 被災市町村に対する人的支援 延べ428人</p>	<p>(1) 検証委員会の今後の予定</p> <p>② 第3回委員会（5月） 被災原因の検証と対応方針の検討</p>

課題	現在の対応状況	今後の対応方向
4 被災事業者や観光事業者への支援	<p>(1) 被災商工業者への支援</p> <p>① <u>地域企業再建支援事業補助金の活用支援</u> 1次募集の活用実績：釜石市1件</p> <p>② <u>2次募集に係る市町村への通知</u> (3/5)</p> <p>(2) 「観光経営力強化セミナーIn さんりく」 ～台風災害に負けない宿経営の仕方～の開催 日 程：2/1 場 所：イーストピアみやこ（宮古市） 講 師：佐藤大介氏 (株)東北アレンジャーズ代表取締役 参加者：66名</p> <p>(3) <u>いわて産直市</u> (2/20～22 JR 上野駅) で三陸地域の観光PR</p> <p>(4) <u>新型コロナウイルス感染症に係る金融相談窓口を設置し、飲食や宿泊事業者等の相談に対応</u> 設 置 日：3/2 (月) 相談件数：7件 (3/9現在)</p>	<p>(1) <u>地域企業再建支援事業補助金</u> <u>2次募集の申請締め切り</u> (5/20)</p> <p>(2) 参加事業者に対するフォローアップ支援</p> <p>(4) <u>金融相談窓口</u> <u>資金繰り等の相談対応、県単融資</u> <u>制度の紹介等</u></p>
5 三陸鉄道再開支援	<p>(1) 復旧工事支援 三鉄の運行再開 (3/20) なお、釜石市の鳥ヶ沢トンネル付近の災害復旧工事（県道）を設計中。また、2次災害対策として治山事業の導入を検討中。</p> <p>(2) 利用促進</p> <p>① 三陸鉄道駅周辺の海鮮「漬け膳」や「漬け丼」等のグルメを掲載した「駅-1グルメ」パンフレットを作成し、県内外に配付。</p> <p>② 県外における情報発信 いわて産直市 (2/20～22 JR 上野駅) で三鉄利用促進をPR</p> <p>(3) 運行再開支援</p> <p>① 3月のリアス線全線運行再開に向け、市町村や三陸鉄道などと連携し機運を醸成。</p> <p>② 三鉄とIGRの共同企画ツアー「さんてつ銀河の星めぐり」(2/15～16)への協力。</p> <p>③ 運行再開記念「わたしたちと三陸鉄道～昭和・平成・そして令和へ～」展 (3/17～20 釜石市民ホール TETTO) の実施。 <u>新聞記事や写真のパネル等による三鉄の歩みを紹介。</u></p>	<p>(1) <u>鳥ヶ沢トンネル付近の県道の復旧工事については、R2年度の完成を目指して復旧工事を推進。</u></p> <p>(2) <u>様々な機会を捉えて三鉄の利用促進を実施</u></p>
6 被災者の一時的な住宅の確保	<p>釜石市の要請により、被災者の一時的な居住を目的とした県営災害公営住宅を2戸提供。12/10から2世帯が入居済（期間1年）。</p> <p>〈※避難者の状況は、別添1のとおり。〉</p>	

令和元年度台風19号 仮設住宅等避難状況(世帯(人))

市町村	既存仮設住宅の 一時使用	みなし仮設住宅及び公営 住宅等への一時入居	避難者世帯(人数)計
宮古市	0	<u>18</u> 世帯(<u>39</u> 人)	<u>18</u> 世帯(<u>39</u> 人)
大船渡市	0	0	0
陸前高田市	0	0	0
釜石市	<u>7</u> 世帯(<u>20</u> 人)	<u>12</u> 世帯(<u>18</u> 人)	<u>19</u> 世帯(<u>38</u> 人)
住田町	0	0	0
大槌町	0	0	0
山田町	<u>26</u> 世帯(<u>62</u> 人)	<u>1</u> 世帯(<u>2</u> 人)	<u>27</u> 世帯(<u>64</u> 人)
岩泉町	0	0	0
田野畑村	0	<u>2</u> 世帯(<u>6</u> 人)	<u>2</u> 世帯(<u>6</u> 人)
計	<u>33</u> 世帯(<u>82</u> 人)	<u>33</u> 世帯(<u>65</u> 人)	<u>66</u> 世帯(<u>147</u> 人)
【参考】 第3回会議報告 (R2.1.21 時点)	<u>40</u> 世帯(<u>99</u> 人)	<u>36</u> 世帯(<u>72</u> 人)	<u>76</u> 世帯(<u>171</u> 人)

(3/9 沿岸広域振興局調(市町村間取り))

県の対応状況等について

課題	現在の対応状況	今後の対応方向																																																						
<p>1 管内市町村等に寄り添った復旧・復興の支援</p>	<p>(1) 市町村の災害対策本部会議及び復旧・復興本部会議に出席し、情報共有等を図った。(久慈市24人日、洋野町2人日、野田村9人日、普代村6人日) なお、管内市町村の復旧・復興本部会議の開催は終了している。(管内最終開催：久慈市が2月25日)</p> <p>(2) そのほか、次の人的支援を行った。</p> <table border="1" data-bbox="336 658 1214 1883"> <thead> <tr> <th>市町村</th> <th>延べ人数</th> <th>業務内容及び対応延べ人数</th> <th>期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">久慈市</td> <td rowspan="6">35</td> <td>罹災証明(4)</td> <td>10月21～24日</td> </tr> <tr> <td>住宅調査(5)</td> <td>10月21～25日</td> </tr> <tr> <td>(※)保健師による被災世帯健康調査(17)</td> <td>11月1、6、7、13、15、18、25日、12月5日</td> </tr> <tr> <td>土砂流出被害調査(2)</td> <td>10月18日</td> </tr> <tr> <td>林道復旧計画作成(4)</td> <td>11月1、5、7、8日</td> </tr> <tr> <td>林道災害査定対応支援(3)</td> <td>12月20日、1月8日</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">普代村</td> <td rowspan="7">91</td> <td>罹災証明(5)</td> <td>10月25日～31日</td> </tr> <tr> <td>矢巾町へのゴミ搬送支援(1)</td> <td>10月20日</td> </tr> <tr> <td>(※)保健師による被災世帯健康調査(9)</td> <td>10月29～30日、11月11～12、12月3日</td> </tr> <tr> <td>土砂流出被害調査(22)</td> <td>10月14日～24日</td> </tr> <tr> <td>林道被害調査(7)</td> <td>10月14日～24日</td> </tr> <tr> <td>林道復旧計画作成(20)</td> <td>10月28～29日、11月13～15、26、28～29日、12月4、11、13日</td> </tr> <tr> <td>林道災害査定対応支援(26)</td> <td>12月19～20、24～26日</td> </tr> <tr> <td>林道復旧工事設計書作成(1)</td> <td>2月17日</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">洋野町</td> <td rowspan="3">5</td> <td>林道被害調査(1)</td> <td>10月21日</td> </tr> <tr> <td>林道災害査定対応支援(3)</td> <td>12月19日、1月8日</td> </tr> <tr> <td>林道復旧工事設計書作成(1)</td> <td>2月18日</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">野田村</td> <td rowspan="4">7</td> <td>土砂流出被害調査(2)</td> <td>10月21日</td> </tr> <tr> <td>林道復旧計画作成(1)</td> <td>10月28日</td> </tr> <tr> <td>林道災害査定対応支援(3)</td> <td>12月19日、1月8～9日</td> </tr> <tr> <td>林道復旧工事設計書作成(1)</td> <td>2月19日</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※)保健師・栄養士を派遣し、市村保健師等と共に被災者宅訪問による健康調査を実施した。調査結果から、心身の健康にリスクがあると判断された被災者については、岩手医科大学の専門的指導を得ながら、市村との情報共有や助言等を継続中である。 (次ページあり)</p>	市町村	延べ人数	業務内容及び対応延べ人数	期間	久慈市	35	罹災証明(4)	10月21～24日	住宅調査(5)	10月21～25日	(※)保健師による被災世帯健康調査(17)	11月1、6、7、13、15、18、25日、12月5日	土砂流出被害調査(2)	10月18日	林道復旧計画作成(4)	11月1、5、7、8日	林道災害査定対応支援(3)	12月20日、1月8日	普代村	91	罹災証明(5)	10月25日～31日	矢巾町へのゴミ搬送支援(1)	10月20日	(※)保健師による被災世帯健康調査(9)	10月29～30日、11月11～12、12月3日	土砂流出被害調査(22)	10月14日～24日	林道被害調査(7)	10月14日～24日	林道復旧計画作成(20)	10月28～29日、11月13～15、26、28～29日、12月4、11、13日	林道災害査定対応支援(26)	12月19～20、24～26日	林道復旧工事設計書作成(1)	2月17日	洋野町	5	林道被害調査(1)	10月21日	林道災害査定対応支援(3)	12月19日、1月8日	林道復旧工事設計書作成(1)	2月18日	野田村	7	土砂流出被害調査(2)	10月21日	林道復旧計画作成(1)	10月28日	林道災害査定対応支援(3)	12月19日、1月8～9日	林道復旧工事設計書作成(1)	2月19日	<p>市町村、本庁及び普代村駐在特命課長等と連携し、必要な対応を行い、復旧・復興をさらに進める。</p>
市町村	延べ人数	業務内容及び対応延べ人数	期間																																																					
久慈市	35	罹災証明(4)	10月21～24日																																																					
		住宅調査(5)	10月21～25日																																																					
		(※)保健師による被災世帯健康調査(17)	11月1、6、7、13、15、18、25日、12月5日																																																					
		土砂流出被害調査(2)	10月18日																																																					
		林道復旧計画作成(4)	11月1、5、7、8日																																																					
		林道災害査定対応支援(3)	12月20日、1月8日																																																					
普代村	91	罹災証明(5)	10月25日～31日																																																					
		矢巾町へのゴミ搬送支援(1)	10月20日																																																					
		(※)保健師による被災世帯健康調査(9)	10月29～30日、11月11～12、12月3日																																																					
		土砂流出被害調査(22)	10月14日～24日																																																					
		林道被害調査(7)	10月14日～24日																																																					
		林道復旧計画作成(20)	10月28～29日、11月13～15、26、28～29日、12月4、11、13日																																																					
		林道災害査定対応支援(26)	12月19～20、24～26日																																																					
林道復旧工事設計書作成(1)	2月17日																																																							
洋野町	5	林道被害調査(1)	10月21日																																																					
		林道災害査定対応支援(3)	12月19日、1月8日																																																					
		林道復旧工事設計書作成(1)	2月18日																																																					
野田村	7	土砂流出被害調査(2)	10月21日																																																					
		林道復旧計画作成(1)	10月28日																																																					
		林道災害査定対応支援(3)	12月19日、1月8～9日																																																					
		林道復旧工事設計書作成(1)	2月19日																																																					

課題	現在の対応状況	今後の対応方向												
	<p>(3) サケ・マスふ化場の復旧に対する支援 種市南漁協の有家川ふ化場、普代村漁協の普代川ふ化場の令和元年の稚魚生産に向けた施設の復旧について、水産業復旧緊急支援対策事業（県単事業）により、両漁協を支援している。 なお、両ふ化場とも、年度内に復旧見込みである。 ＜水産業復旧緊急支援対策事業＞</p> <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">有家川</td> <td style="text-align: center;">普代川</td> </tr> <tr> <td>・ 総事業費</td> <td style="text-align: center;">2,783 千円</td> <td style="text-align: center;">2,556 千円</td> </tr> <tr> <td>・ 補助金額</td> <td style="text-align: center;">927 千円</td> <td style="text-align: center;">851 千円</td> </tr> <tr> <td>・ 補助率 1/3</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">【9月補正予算（県単）】</td> </tr> </table> <p>(4) 災害査定対応 国の災害査定に次のとおり対応した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路 128（県管理 8、市町村管理 120）：12/16～1/31（済） ・ 河川 73（県管理 28、市町村管理 45）：12/16～1/31（済） ・ 林道 26 箇所：12/23～12/27、1/7～1/10（済） ・ 農地・農業用施設 66（市町村分立会）：12/9～12/25（済） ・ 漁港 1（市営漁港立会）：12/9～12/10（済） <p>(5) 被災事業者への支援 企業訪問を通じ、被災事業者に対する国・県の支援制度を周知している。 ＜地域企業再建支援事業費補助金の交付申請受付状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 久慈市 <u>交付申請受付2件、随時相談受付中</u> ・ 普代村 <u>随時相談受付中</u> ・ 野田村 <u>3月中に事業者へ説明予定</u> <p>【12月及び2月補正予算（国の対策パッケージ）】</p>		有家川	普代川	・ 総事業費	2,783 千円	2,556 千円	・ 補助金額	927 千円	851 千円	・ 補助率 1/3	【9月補正予算（県単）】		<p>（市村と連携し、引き続き周知に努める。）</p>
	有家川	普代川												
・ 総事業費	2,783 千円	2,556 千円												
・ 補助金額	927 千円	851 千円												
・ 補助率 1/3	【9月補正予算（県単）】													
<p>2 県管理の国県道及び河川の復旧推進</p>	<p>災害協定に基づき、10月13日から一般社団法人岩手県建設業協会久慈支部へ土砂・流木撤去及び応急工事（道路11箇所及び河川13箇所）を依頼した。現在、道路9箇所及び河川3箇所が完了し、残る箇所について作業を実施中である。 また、家屋等の浸水被害があった河川については、洪水により河道に堆積した土砂の緊急的な撤去を進めるとともに、小屋畑川などでは、浸水範囲や洪水痕跡などの調査を踏まえ、事業導入に向けた検討を進めている。 ＜県管理公共土木施設の被害状況＞</p> <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">箇所数</td> <td style="text-align: center;">被害額</td> </tr> <tr> <td>・ 道路</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">77 百万円</td> </tr> <tr> <td>・ 河川</td> <td style="text-align: center;">28</td> <td style="text-align: center;">394 百万円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: center;">36</td> <td style="text-align: center;">471 百万円</td> </tr> </table>		箇所数	被害額	・ 道路	8	77 百万円	・ 河川	28	394 百万円	計	36	471 百万円	<p>土砂・流木の撤去及び応急工事について、令和元年度内の完了を目指す。</p>
	箇所数	被害額												
・ 道路	8	77 百万円												
・ 河川	28	394 百万円												
計	36	471 百万円												
<p>3 三陸鉄道の復旧支援</p>	<p>地域経営推進費（235千円）を活用し、三陸鉄道の支援事業を行った。</p> <p>(1) 田野畑－普代間運行再開イベントへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2月1日（土）、三陸鉄道普代駅 ・ 体験乗車した園児9名への参加記念品の提供 <p>(2) IGR&三陸鉄道共同企画ツアーへの支援（沿岸局と連携）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2月15日（土）～16日（日）、IGR二戸駅 ・ ツアー列車乗客（2日間計82名）への参加記念品の提供及び駅ホームでの歓送迎 	<p>新年度も地域経営推進費を活用し、三陸鉄道を支援する。</p>												

県の対応状況等について

課題	現在の対応状況	今後の対応方向
被災者の生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県立病院等の利用料免除措置 岩手県立病院等利用料条例第4条に基づき、特に医療局長において必要と認めた者の利用料を免除 ■ 免除対象者 医療費の一部負担金免除対象者 ■ 取扱期間 令和元年10月12日から令和2年9月30日まで ■ 免除する利用料の項目 文書料や紹介外初診時負担など全15項目 	当該措置の延長については、国及び県の動向を把握のうえ検討

県の対応状況等について

課題	現在の対応状況	今後の対応方向
<p>クリーンエネルギー導入支援事業による被災市町村の支援</p>	<p>岩手県企業局クリーンエネルギー導入支援事業の支援対象に「令和元年台風第19号災害からの復旧・復興」を追加するとともに、補助率を引き上げて支援。</p> <p><u>【R2当初予算 10百万円】(計上)</u></p> <p>(1) <u>対象災害</u> 台風第19号の暴風雨による災害</p> <p>(2) <u>対象市町村</u> 県内33市町村 (事業主体：市町村及び市町村長が推薦する公共的団体)</p> <p>(3) <u>対象事業</u> 太陽光発電設備、省エネ設備、LED照明設備の設置・復旧など</p> <p>(4) <u>補助額</u> 補助対象経費の9/10以内の額で、5,000千円を上限(通常枠は補助率3/4)</p> <p>(5) <u>事業期間</u> 支援ニーズの状況を踏まえながら当面継続</p>	<p>○公募：3月～4月</p> <p>○交付決定予定：5月</p>